

あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

木曾川は野鳥の楽園

道の駅「立田ふれあいの里」には全国から人が集まってきています。大きな超望遠レンズが付いたカメラを持った人に来た理由を聞いてみると、この時期、木曾川河川敷やその周辺の蓮根田には珍しい渡り鳥が来るそうです。素人には、ちょっと変わった鳥と思うのですが、野鳥愛好家にとっては、一度は見てみたいと思うような珍しい貴重な鳥も来ているようです。珍しい鳥は渡り鳥だけではありません。自然豊かな木曾川河川敷周辺は野鳥の楽園です。たまには自然観察してみませんか。



魚を捕らえたオスプレイ (写真: 弥富野鳥園提供)

先月から愛西市八開郷土資料室では特別展『横井也有と藤ヶ瀬』が開催されていますが、そこで紹介されている横井也有の俳諧作品には、たくさんの自然風物が詠み込まれています。その中に、五位鷺（ゴイサギ）、雁（カリ＝ガン）、乙鳥（オツドリ＝ツバメの別名）など鳥の名前もあります。雁や乙鳥は渡り鳥なので秋や夏を示す俳諧の季語にもなります。

渡り鳥には、愛西市を通過する晩秋の一時期だけに見られる種類、愛西市の木曾川河川敷などで越冬する種類があります。越冬組の代表がコハクチョウであり、数年前には数十羽が見られました。最近は少し上流（一宮市域）に越冬地の中心を変えたようで、愛西市域で見かけることが少なくなりました。しかしながら、木曾川河川敷へ行けば、今日も、鴨（カモ）など冬の渡り鳥（冬鳥）、あるいは、雉（キジ）や鷺（サギ）など一年中愛西市付近にいる留鳥など、いろいろな鳥達が見られます。鴨は大群でいるため、耳をすませば長閑な日差しの中でガアガアと鳴いたり、夕暮れにV字編隊を組んで飛んだりしています。ところで、鶚（ミサゴ）という鳥はご存知ですか？。日本全国、主に海岸、広い河川、河口などに生息する鷹（タカ）の仲間、愛西市の木曾川や鶴戸川などの上空で一年間を通し優雅に飛んでいます。鶚は魚を主食とする変わった猛禽類で、水面上をゆっくりと飛行して獲物を探し、獲物を見つけると翼を羽ばたかせて空中に静止するホバリング飛行をした後に一気に急降下し、水面で脚を伸ばし両足で獲物を捕らえます。鶚は、英語名をオスプレイ（osprey）と言います…。んっ…？、どこかで聞いたことがある名前ですねえ。

安泉寺 と 大成庄



大成庄遺蹟の石碑

中日新聞県内版に阿部繁弘先生の『街道に行く・佐屋街道と周辺の道』が継続して掲載されています。11月は佐屋町の「水鶏塚」「代官所跡の石碑」などが描かれていました。愛西市観光協会では、11月15～24日に「原画展」を開催し、立田地区で描かれ新聞に掲載された原画7枚、他作品の計10枚を愛西市三和町の安泉寺に展示しました（4頁参照）。

安泉寺に來られた方は、境内に大きな石碑が建っていることに気付かれるでしょう。この石碑は、1200年前からあった地名・大成（おおなり）を後世に伝えるために建てられたものです。

多度神社の神宮寺であった法雲寺に残る『資材帳』によれば、786（延暦5）年、尾張国に莊園として墾田35町8反40歩がありました。これが東寺領となり大成庄と呼ばれました。京都にある東寺（教王護国寺）は、平安時代に弘法大師・空海によって建立された東寺真言宗の総本山であり、金堂や五重塔などの建物は国宝であり、ユネスコの世界文化遺産になっています。建物の他に膨大な数の仏像など、『東寺百合文書（とうじひやくごうもんじょ）』とよばれる古文書なども国宝となっています。この百合文書は近年ユネスコの**世界記憶遺産**候補となって注目されています。その『東寺百合文書』に大成庄の庄域として、大成、二老、新堤、葛木など現在の愛西市域にある（あった）地名が記載されています。

現在の安泉寺は浄土真宗大谷派の寺院で、開創時の事情は不詳ですが、1581（天正9）年、僧・慶空によって創立されたと伝えられます。また、別に、昔は真言宗の寺でしたが、親鸞聖人の教えに帰依して転派したとも伝えられます。



安泉寺 遠望

明治20年頃から始められた木曾川大改修工事により大成村の大部分が川底となって、村民は名古屋や桑名、美濃方面へと分散移住していきました。寺も十数戸と共に移転しました。その後も明治の濃尾地震、昭和の火災により大きな危機に立たされましたが、住職・檀家信徒の努力で復興されています。

「あいさいさん」アイデアコンテストの結果

愛西市観光協会では、愛西市マスコットキャラクター「あいさいさん」のデザインを応用するアイデアコンテストを実施していましたが、10月29日に表彰式がありました。新グッズ部門に67点の応募があり、最優秀賞に大河内裕恵さんのエコバッグ、優秀賞に渡辺志保さんのレター・葉書セット、特別賞に川上もと子さんのエプロンが、既製グッズ部門には9点の応募があり、最優秀賞に伊藤陽子さんのカード入れ、優秀賞に山下恵子さんの鍋つかみ、特別賞に三輪小百合さんのお手玉が選ばれました。他にもたくさんの面白いアイデアがありましたが、観光協会では、今後の商品化に向けた検討をしています。



あいさいさん

知られていない名所・旧跡 <総代さんへのアンケート>

愛西市観光協会では、9月10日各地区の総代さん67人にアンケートを郵送し、①名所・旧跡、②祭礼についてお尋ねし、アンケート用紙に無記名で記載いただき、9月末日迄に返送いただきました。残念ながら返信は27人で回収率は40%でしたが、回答には、あまり知られていない名所・楽しい祭礼の紹介など貴重なご意見がありました。特に、大井町と勝幡町からは詳細な祭の内容までお知らせいただきました。ご協力ありがとうございました。ここでは、①名所・旧跡について下記に報告します。②祭礼については内容が多様なため、今後機会を作って紹介します。また、自由意見として回答いただいた総代さんのご意見は下記掲載し、今後の観光施策に反映していきます。なお、提出されていない総代さんは下記結果を参考にされて返答いただけると幸いです。

1) 愛西市内の名所・旧跡について

総代さんに記載いただいた事項で、平成24年観光協会発行のガイドブック『あいさい物語』に詳しい記載のなかった事項を下記します。

- ・木曾川背割堤での野鳥観察（白鳥、雉、鴨類、鷹などの猛禽類、冬季が良い ⇒ 表紙で紹介）
- ・鱈（あじ）の押し寿司（稲葉町周辺の郷土料理）
- ・大井神社跡の根上がり松（永和団地中央公園のちびっこ第4広場）、永和温泉（大井町）
- ・宮地の渡し跡と多度道（宮地町 ⇒ **下記**）
- ・長久寺（高畑町：高須藩藩主・奥方等の位牌が安置）

2) 総代さんからの観光に関する自由意見（一部表現が変えてある場合がありますがご了承下さい）

自由意見として総代さんに記載いただいた事項を下記します。

- ・木曾川は大きな観光資源であり、早尾の渡し、葛木の渡しを土日営業する。
- ・佐屋宿場町は歩くには良い。
- ・佐屋駅を基点として観光船（昼食付）や松永宅と組み合わせるルートを検討する。
- ・4地区で行っている夏まつりを木曾川畔にて花火大会など全市民が集まれる催しを開催。
- ・親水公園へ各地の神楽を集結させる。
- ・永和駅周辺の開発を希望する。
- ・木曾川で釣り大会、鶺鴒川で外来種駆除のための釣り大会を開催する。
- ・蓮根にあまりこだわらず通過する行楽客の足を止める方法、レジャー施設などを検討する。
- ・勝幡城跡が雑草に覆われているので清掃した方が良い。

<宮地の渡し跡と多度道>

愛西市宮地町には、江戸時代に多度道が通っていました。この道は、1634（寛文11）年に徳川家光が通ったとも伝わり、疫病退散にご利益がある津島神社、雨乞いにご利益がある多度大社への参詣道として多くの人が通りました。そして、現在の宮地町と津島市下新田町との間には旧佐屋川を渡る宮地の渡しがありました。宮地町の旧佐屋川右岸堤防上に地蔵堂と標識が立っています（右写真）。残念ながら多度道は近代以降の区画整理でほとんど残っていません。



宮地の渡し跡

あいさいボランティアガイドの会 11月定例会 議事録

◆会議（11月16日9～10時、於：安泉寺 21名出席）

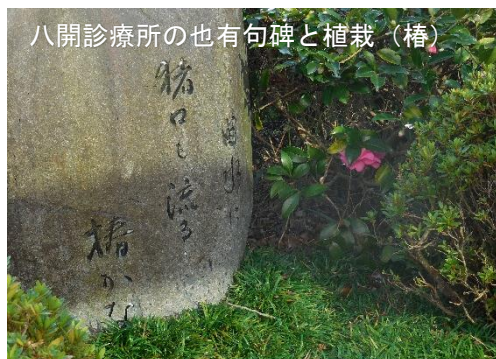
①愛西市観光協会が関係する11月後半・12月のイベント事業へのボランティアガイドの協力参加者を確認しました。また、1月の「あいさいの日」について説明しました。

②2015年月例会での行動内容について12月月例会で検討します。今後、有意義な視察会を開けるように、みなさんからも提案いただくようお願いしました。

③11月15日（土）に実施された八開郷土資料室主催「横井也有と藤ヶ瀬展」歴史ウォーキングで案内した見学地を紹介しました。八開診療所には横井也有の句碑があり、句碑横には、山茶花・椿・山吹など句に詠まれた植物が植え込まれています。そして、横井也有の墓がある西音寺は、藤ヶ瀬町のみなさんのご好意で赤門が飾られ、また、藤ヶ瀬横井家歴代当主の墓に花が添えられて綺麗になっていました。なお、同日（15日）に実施された法人

会主催「ねんぐ村」での協力活動についても報告がありました。

⑤今回の月例会では、「ボールペン画の原画展」を見学し、立田地区の風景について研修しました。愛西市観光協会では、中日新聞県内版の『街道を行く・佐屋街道と周辺の道』掲載に伴い、立田地区で描かれ新聞に掲載された阿部繁弘先生の前画7枚、他作品の計10枚を11月15～24日に愛西市三和町の安泉寺（2頁参照）に展示し「原画展」を開催しました。



V G 12月定例会の予定

日時：12月21日（日）9時～

集合場所：愛西市文化会館

内容：定例会

愛西市観光協会が関係するイベント

今年も残り1ヶ月となりました。12月の予定は特にありませんが、

1月31日はあいさいの日

1月31日、1月の1（いち）を英語のI（あい）と読んで、1・31（あいさい）。語呂合わせで「愛妻の日」です。「愛西の日」にもなります。来年度（2015年）は、愛西市合併10周年という記念すべき年となりますが、来年の1月31日にも愛西市観光協会主催で、特別な催事が計画されています。詳細は次号で紹介できるでしょう。